

JAC 埼玉支部 2023 年度 11 月支部山行報告

町田美春

*日程：2023 年 11 月 11 日（土） 晴れ

*場所：秩父御嶽山（1,080m）

*参加者：CL 町田、SL 小玉、稲越、古川、松尾、宮崎、吉田（由）、塚越、
平本（真）、平本（美）、高倉、長谷部、中根 13 名

*集合：秩父鉄道「三峰口駅」

*行程：9:05 三峰口駅→9:20 贅川宿→11:40 タツミチ→12:00 秩父御嶽山 12:30→
13:50 杉ノ峠→14:48 登山口→15:07 強石バス停→15:40 三峰口駅

*歩行時間：約 6 時間 30 分（休憩込み）

*装備：日帰り登山装備 雨具、昼食、行動食、非常食、飲料水、救急用品、防寒着等

*行程概要：

前日は冷たい雨降りでしたが、当日は秋晴れとなり参加者の方々は晴れやかな顔で秩父鉄道三峰口駅に集合しました。心配していた気温もそれ程低くはならず、山行には丁度良い気温でした。

今回の山行は奥秩父ということもあり熊の出没を懸念していましたが、参加者の方々が熊よけグッズを色々準備してくださり心強かったです。集合時に熊よけグッズのお披露目があり皆、興味津々に手に取っていました。

三峰口駅をスタートし贅川宿では、案山子のお出迎えがありました。おじさんやおばさん、子ども達まで沢山の案山子に迎えられ、そして登山口では見送りを頂きました。

稜線に出るまではずっと杉林の中を歩きましたが、手入れがされている林なので暗さは感じませんでした。如何にも熊が出てきそうな雰囲気はありました。熊よけグッズの火薬銃や電子ホイッスルの活躍で安心して歩くことができました。イノシシを見かけた時にもすかさず火薬銃を鳴らしてくださいました。



一度稜線に出ると黄色く色付いた葉が太陽の光に当たりとても綺麗で私たちの目を楽ませてくれました。そこから山頂まではかなりの急登でしたが、山頂からの眺望は素晴らしく、両神山、天理岳、遠くには雪のない浅間山も見え疲れが吹き飛びました。山頂にはお社と鐘があり、到着の鐘を鳴らしました。先着の方に写真撮影を依頼すると、何故か私達の写真に混じっていたというハプニングがありました。

山頂から少し下った所で休憩をとりましたが、日陰のため一気に寒さが押し寄せ、防寒着や手袋を装着し温かい飲み物で体を温めました。



その後、強石方面に下山を開始すると落ち葉で登山道が埋まり道がわかりづらい箇所がありました。事前に下見をしていたので道迷いせずすみしました。

痩せ尾根と急峻な岩場・鎖場は、足の踏み場が確認できないほど落ち葉が溜まっており、ストックで掻き分けながら一步一步確実に足の踏み場を確認しながら進みました。



所々に紅葉もみられ、遠くからはSLパレオエクスプレスの汽笛が聞こえ、里山の楽しさを感じた瞬間でもありました。強石の登山口に到着すると、サルの群れがいましたが、火薬銃と電子ホイッスルの音響で飛び散っていきました。熊よけグッズが大活躍の山行でした。

バス停迄は20分ほどあり急ぎ足で向かいましたが、残念ながらバスは行ってしまった後でした。対岸に渡り晩秋の秩父路を楽しみながら三峰口駅迄歩きました。

* 参加者の感想 *

【古川史典】今回は、秩父独特の切り立った山、尾根も急峻で痩せていて登り下りに緊張を強いられる時間の長い山であった。季節は冬に向かい冷たい風が吹く中、少し山中は寂しさを感じましたが、それも自然の移り変わりと思えば又楽しからずの登山でした。担当の町田さん、小玉さん、下見も含め2回の「秩父御岳山」ありがとうございます。

【高倉洋一】支部山行は8月下旬の針ノ木岳山行以来の参加となりました。天気も悪くなく、皆とお喋りしながら、猪・猿に遭遇しながら奥秩父の里山歩きを楽しむことが出来ました。夏の北アルプスも好きですが、身近な奥秩父の山々も楽しめますね。CLの町田さん、SLの小玉さん、ありがとうございました！

【松尾 渡】秩父御嶽山は公共機関を利用して家から集合場所まで行くのには3時間強かかる。ローカルの山に行く時は、(1)山行を目指す山、(2)利用する地元の鉄道に関心が出てくる。今回の御岳山は埼玉県に二つあり、今回の奥秩父の御嶽山はもう一つの御岳山(神川町にある「みたけやま」)より高度が700m以上高く、標高差も大きい。当日は好天に恵まれ、枯葉舞う晩秋の自然や景色を十二分に堪能できた。また、熊谷から三峰口まで走る秩父線は初めての体験で、学校に通う高校生や地元の年配の人の会話を聞いて「遠くへ行きたい」という番組を思い出す。山々が続き、流れる川も清澄で谷が深い。平凡であるが、「そんなに時間に急がなくてもいいのですよ」と教えられている気がする。晩秋の御嶽山は全山紅葉にはまだ早いが、心地よい汗と軽快な疲れを感じさせ「自然の良さ」を納得できた一日で、また新たな山登りを目指したいと意欲を湧かせる。最後に、山行を企画された幹事の方に感謝するとともに、全員無事安全に下山できたことを嬉しく思います。

【長谷部康子】夏に個人で計画し普寛上人についても調べたりしていたのですが、暑さで取りやめた山でした。今回登ることができ嬉しかったです。熊との遭遇を心配してましたが皆さんが対策をしっかりしてくださっていたので安心でした。紅葉もきれいで大満足の山行でした。

【宮崎則子】埼玉県に御岳山があることを初めて知りました。アクセスも良く登山道や標識も整備されていて気持ちの良い山行でした。思っていたより長い最後の登坂や落ち葉で足元が不安な下り坂など結構スリルも味わえ、低山でも登った満足感がありました。有難うございました。

【吉田由美】11月になってもなかなか気温が下がらない日が続きましたが、久しぶりに冷とする空気の中を気持ち良く歩けました。山頂からは、両神山や二子山も見え陽差しが当たった紅葉はキラキラしてとてもステキな秩父御岳山でした。

【小玉和孝】今回の山行は参加人数も多いためリーダーとも相談して急遽下見を実施しました。晩秋で落ち葉が登山道を覆っており、道迷い起こし易い箇所が2カ所見つかりました。また、下山時の危険な場所もチェックすることが出来ました。当日は、天気も良くスムーズな山行を実施することが出来ました。これからも皆さんと楽しく安全な山行を実施していきたいと思います。

【稲越洋一】秩父御岳山は、標高1000m前後ながら、そこそこの標高差に加え、急登や岩場もあり、有名な青梅・御岳山とは比較にならない山らしい山です。案内のとおり、山頂には木曾の御嶽山とも繋がりがあつた祠があり、信仰の山でもある事を実感。晩秋の紅葉も見ごろで眺望もあり、もっと人気が出て良いのではないのでしょうか。ただ落ち葉の時期だったので踏み跡は不明瞭で、又、滑りやすく侮れない山ですね。

【平本真二郎】三峰口駅をスタートし登山道に入る前には多くの案山子が置かれ、住民より案山子の数が多いのではと感じる程でした。しばらく緩やかな樹林帯が続いていましたが、頂上前では約二百メートルの急登が続き秩父御嶽山の洗礼を受け山頂に到着となりました。頂上からは両神山、浅間山などが見えている中で、初めて天理岳も確認することができ、気持ちもいい山行となりました。

【町田美春】お天気も良く贅川宿の案山子さん達に迎えられ、晩秋の秩父御嶽山を気持ちよく歩けました。紅葉は、ほぼ終わりのようでしたがわずかに残っている色とりどりの葉に陽が当たり、とても綺麗で癒されました。急登、痩せ尾根、岩場等バリエーションに富み低山ながらも歩きごたえがありました。落ち葉で滑りやすく道迷いしやすい状況でしたが、下見をしていたのでトラブルなく下山できホッとしています。

【中根洋子】紅葉というより茶色っぽい葉が多いのが残念でしたが、その分たまに見られる真っ赤や真っ黄色の葉が青空に映えて大変印象的でした。体が慣れておらず不安がありましたが、思ったほど寒くもなくお天気に恵まれたのもよかったです。急登・急坂は足元が覚束なく結構大変でしたが、皆様のサポート・お気遣いのおかげで終わってみれば全身心地よく疲れた山行でした。お世話になりました。またよろしくお願ひいたします。

【平本美恵子】埼玉50座の最初の1座目が秩父御嶽山となりました。爽やかなお天気の中、この急登はアルプス並みの登りだと思ひながら、汗だくになりながら山頂にたどり着きました。立派な社があり周りの山々が見渡せる気持ちの良い山頂でした。頂上直下で昼食を食べましたが、三峰口駅の名物「草もち」を食べているはずなのに、まさかの臨時休業でGetできず残念でした。秋の落ち葉を踏みしめながら、急登と岩、鎖場があつたりと楽しい山行でした。

【塚越和子】秩父御岳山、低いながらもしっかりと続く急登、また下りは、下りで細く滑りやすい登山道で、なかなか中身の濃い侮れない低山でした。でも皆で歩くと、不思議と楽しく歩いてしまいました。紅葉してる葉も、美しく充実した1日を、過ごせました。